



2014年10月1日  
株式会社 リクルート キャリア

## HELPMAN JAPAN 「介護サービス業 職業イメージ調査 2014」

株式会社リクルートキャリア（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：水谷 智之）が行う、日本の介護サービス業に関わる全ての人を応援するプロジェクト『HELPMAN JAPAN』は、就・転職先としての介護サービス業の職業イメージについて実態を明らかにするために、全国の学生、社会人2,575人を対象に調査を実施いたしました。このたび調査結果がまとまりましたので、一部を抜粋してご報告申し上げます。

『介護サービス業』のイメージは、他の産業に比べて、今後伸びていく成長産業というポジティブなイメージがあるが、体力的・精神的にきつい、給与水準が低い仕事といったネガティブなイメージも強く、就・転職想起率も16.4%と低い傾向。

『介護サービス業』の実態については、未経験でも就業できることや他産業からの『介護サービス業』への参入が相次いでいることについては30%程度の認知があるものの、離職率が高い事業者は限定されること、半数以上の事業者は残業がないことなどについての認知は10%程度にとどまる。

『介護サービス業』の現在従事者の入職理由は「やりがい」や「専門性」の割合が高い。一方、過去従事者の退職理由は「仕事内容」や「職場環境」の割合が高いことから認知イメージの是正にとどまらず、介護事業者による「仕事内容」や「職場環境」の継続的な改善が必要である。

### 【『介護サービス業』の職業イメージ】・・・P4・5

- 『介護サービス業』の職業ポジティブイメージ  
最も高かったのは「社会的な意義の大きい仕事だと思う」(46.1%)、  
次いで「今後成長していく業界だと思う」(37.7%)。
- 『介護サービス業』の職業ネガティブイメージ  
「体力的にきつい仕事の多い業界だと思う」(65.7%)がトップ。  
次いで「精神的にきつい仕事の多い業界だと思う」(58.9%)。

### 【『介護サービス業』について認知していること】・・・P6・7

- 『介護サービス業』について認知されていることは、  
「介護事業者も普通の会社組織（人事、総務、営業、企画など）があること」が最も高く認知率34.0%。  
認知されていることで最も低いのは、「介護業界の50%の企業が残業がないこと」で認知率6.7%。
- 介護サービス業の経験がある方（現在従事者）に認知されていることは、  
「資格の有無に関係なく未経験からでもスタートできる」が最も高く認知率72.8%。  
認知されていないという意味で最も認知率が低いのは、「介護業界の50%の企業が残業がないこと」14.9%。

### 【『介護サービス業』の入職理由と退職理由】・・・P9・10

- 『介護サービス業』の現在従事者の入職理由は、「仕事にやりがいがあると思ったから」(24.3%)、  
「資格や専門知識を活かすことができると思ったから」(24.0%)がともに2割以上。
- 『介護サービス業』の過去従事者の退職理由は、「精神的にきつい仕事だったから」(26.7%)、  
「体力的にきつい仕事だったから」(22.3%)がともに2割以上。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社リクルートキャリア コーポレート戦略統括部 社外広報グループ宛  
Mail : kouho@waku-2.com

## 【目次】

1) 『介護サービス業』への就・転職意向	3
2) 『介護サービス業』の職業イメージ	4・5
3) 『介護サービス業』について認知していること	6・7
4) 『介護サービス業』との接点	8
5) 『介護サービス業』の入職理由と退職理由	9・10
6) 「介護サービス業の仕事」の事実を読んだ後の『介護サービス業』への就・転職意向の変化	11

## 【調査概要】

## 【調査方法】

○インターネット調査（マクロミルの調査モニターを使用）

## 【調査期間】

○スクリーニング調査 2014年8月14日（木）～18日（月）

○本調査 2014年8月21日（木）～23日（土）

## 【調査対象】

○スクリーニング調査：全国の15～64歳の男女 38,606人回収

※回収時に性別、年代別、地域ブロック別の「平成24年就業構造基本調査」と「平成25年度学校基本調査」それぞれの比率を元に割付を実施。

性別（2セグメント=男性、女性）×年代別（3セグメント=18～34歳、35～54歳、55～64歳）×地域ブロック別（4セグメント=「関東1都3県（東京、神奈川、千葉、埼玉）」「関西（滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山）」「東海（岐阜、愛知、三重）」「その他」）=24セグメントによる割り付け。

○本調査：対象者数：2,575人

## ●対象者内訳

## 《社会人》

4つの回答者層（「介護サービス業の経験なし・介護サービス業非想起層」「介護サービス業の経験なし・介護サービス業想起層」「介護サービス業の経験あり・過去従事者」「介護サービス業の経験あり・現在従事者」）についてスクリーニング結果の出現率を元にウエイトバックをかけて集計を行っている。

※介護サービス業の経験なし=今までに3ヶ月以上介護サービス業で働いたことがない者

介護サービス業の経験あり=今までに3ヶ月以上介護サービス業で働いたことがある者

介護サービス業の想起層=介護サービス業について今後、就職・転職先として

「第1候補として考えたい」「候補の業種のひとつとして考えたい」

「就職・転職先として検討する可能性がある」いずれかを選択した者

介護サービス業の非想起層=介護サービス業について今後、就職・転職先としては

「あまり考えないと思う」「まったく考えないと思う」いずれかを選択した者

## 《学生》

文部科学省「平成25年度学校基本調査」の数値を参照し、これと男女の構成比が同じになるようにスクリーニング調査で回収を行ったうえで、本調査回答にウエイトバックをかけて集計を行っている。

## ●ウエイトバック値

社会人	合計	スクリーニング調査		本調査		WB値	
		出現数	構成比 (%)	回答者数	構成比 (%)		
	合計	34,859	100.0	1,957	100.0		
	介護サービス業の経験なし・介護サービス業非想起層	28,421	81.5	721	36.8	2.21299	
	介護サービス業の経験なし・介護サービス業想起層	4,960	14.2	721	36.8	0.38621	
	介護サービス業の経験あり・過去従事者	813	2.3	206	10.5	0.22156	
	介護サービス業の経験あり・現在従事者	665	1.9	309	15.8	0.12082	
学生	合計	スクリーニング調査		本調査		WB値	
		割付数	構成比 (%)	回答者数	構成比 (%)		
	高校生	男性	828	22.1	130	21.0	1.04930
		女性	819	21.9	179	29.0	0.75543
	大学・短大・専門学校生	男性	1,152	30.7	174	28.2	1.09304
	女性	948	25.3	135	21.8	1.15689	

## 1) 『介護サービス業』への就・転職意向

『介護サービス業』への就・転職想起率(※)は16.4%。

『IT・情報・通信産業(22.7%)』『観光・ホテル業(22.8%)』

『外食サービス業(22.6%)』よりも低い結果となった。

- 『福祉サービス業』『医療サービス業』への就・転職想起率は『介護サービス業』とほぼ同じ。
- 『介護サービス業』について属性別にみた場合は以下の通り。
  - ・社会人では『男性』『女性』ともに年代が低くなるほど「想起者・計」のスコアが高くなる。
  - ・特に社会人『女性・18～34歳』では「想起者・計」が23.8%と、他の層に比べスコアが高い。
  - ・学生では『男性』で「非想起者・計」が90.8%と、『女性』(80.9%)より約10ポイント高い。

※就・転職想起率：就職・転職を思い起こす割合「想起者・計」

## ■『介護サービス業』への就・転職想起率\_他業種間比較(全体/各単一回答)

	想起者・計				非想起者・計		想起者・計	非想起者・計
	第1候補として 考えたい	候補の業種の ひとつとして 考えたい	就職・転職先として 検討する 可能性がある	就職・転職先 としてはあまり 考えないと思う	就職・転職先 としてはまったく 考えないと思う			
●凡例								
介護サービス業	2.3	5.8	8.3	18.0		65.6	16.4	83.6
福祉サービス業	1.9	6.0	7.6	19.2		65.2	15.5	84.5
医療サービス業	4.9	5.0	6.9	16.5		66.7	16.8	83.2
IT・情報・通信産業	5.1	7.0	10.6	18.4		59.0	22.7	77.3
観光・ホテル業	1.9	6.8	14.2	21.8		55.5	22.8	77.2
外食サービス業	1.7	7.7	13.3	21.8		55.6	22.6	77.4

※比較業種は、厚生労働省「一般職業紹介状況」より、2013年度の職業別有効求人倍率(パートタイムを含む常用)のデータを参照し、「サービスの職業」と「専門的・技術的職業」に属している有効求人倍率が1.6を超える職種の中から抽出した。

## ■『介護サービス業』への就・転職想起率\_属性別比較(全体/単一回答)

(%)

		想起者・計			非想起者・計		想起者・計	非想起者・計
		第1候補として 考えたい	候補の業種の ひとつとして 考えたい	就職・転職先 として検討する 可能性がある	就職・転職先 としてはあまり 考えないと思う	就職・転職先 としてはまったく 考えないと思う		
全体		2.3	5.8	8.3	18.0	65.6	16.4	83.6
職業 × 性別 ・ 年代 別	社会人・計	2.5	6.0	8.8	19.1	63.7	17.2	82.8
	男性	2.4	5.2	8.5	17.9	66.1	16.0	84.0
	男性・18～34歳	3.8	6.7	8.1	19.2	62.2	18.6	81.4
	男性・35～54歳	2.2	5.1	9.3	18.7	64.7	16.6	83.4
	男性・55～64歳	1.4	3.8	7.4	15.2	72.3	12.5	87.5
	女性	2.6	6.8	9.0	20.3	61.3	18.4	81.6
	女性・18～34歳	3.0	8.8	12.0	18.2	58.1	23.8	76.2
	女性・35～54歳	2.2	5.7	8.9	21.4	61.8	16.8	83.2
	女性・55～64歳	2.7	7.0	6.7	20.3	63.4	16.4	83.6
	学生・計	1.9	5.2	6.8	14.6	71.6	13.9	86.1
男性	1.6	2.7	4.9	14.5	76.3	9.2	90.8	
女性	2.2	8.0	8.9	14.7	66.2	19.1	80.9	

+10 : 全体値より10ポイント以上高い数値

+5 : 全体値より5ポイント以上高い数値

-5 : 全体値より5ポイント以上低い数値

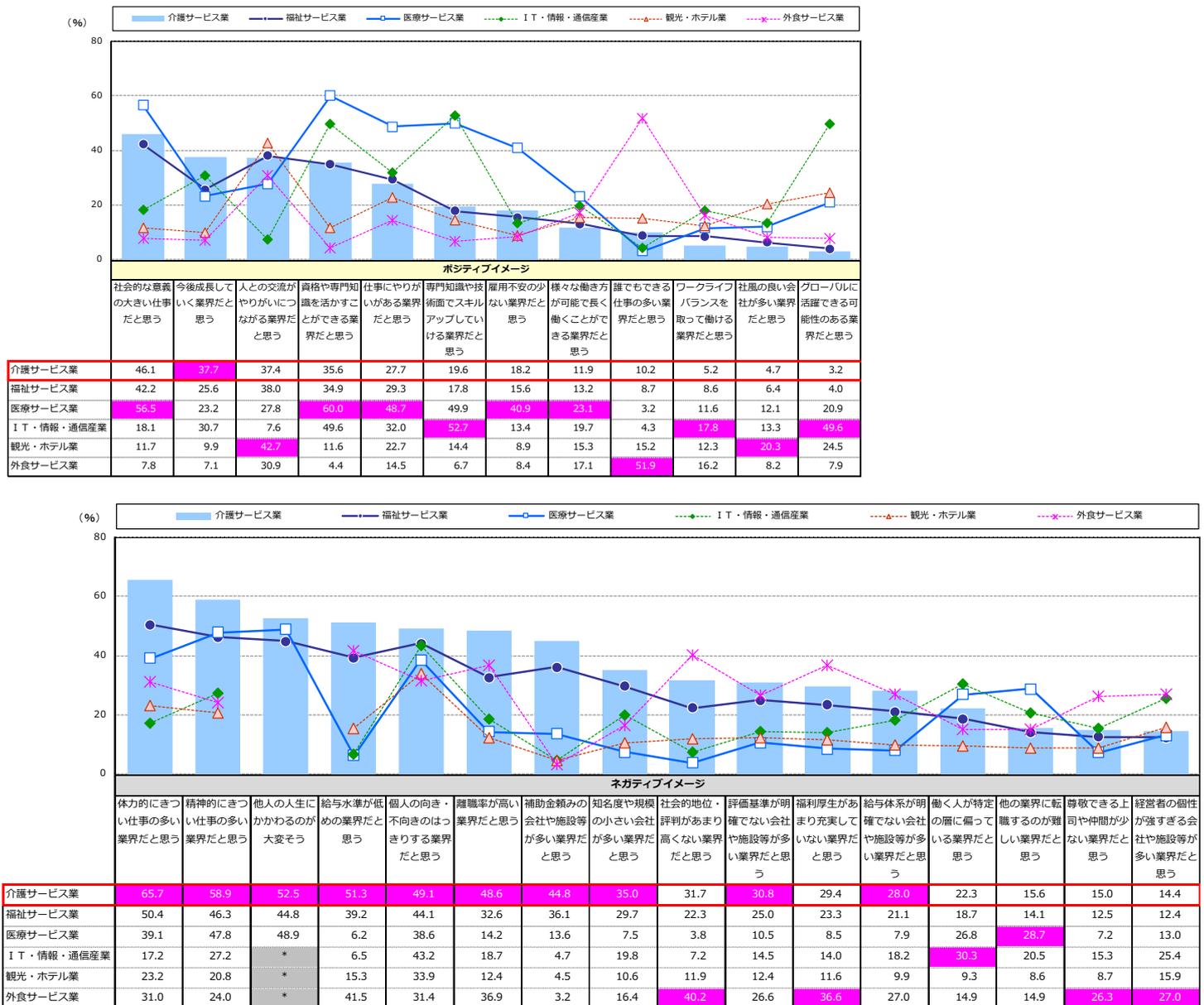
## 2) 『介護サービス業』の職業イメージ①

『介護サービス業』の職業イメージはネガティブイメージが上位を占めており、他の業種と比較しても全体的にネガティブイメージのスコアが高い。

ポジティブイメージでは「今後成長していく業界だと思う」(37.7%)が他の5業種と比較して最も高い。

- 『介護サービス業』の職業イメージは「体力的にきつい仕事の多い業界だと思う」(65.7%)がトップ。次いで「精神的にきつい仕事の多い業界だと思う」(58.9%)。
- ポジティブイメージで最も高かったのは「社会的な意義の大きい仕事だと思う」(46.1%)、次いで「今後成長していく業界だと思う」(37.7%)。

## ■ 『介護サービス業』の職業イメージ 他業種間比較 (全体/各複数回答)



※比較業種は2013年度の職業別有効求人倍率(パートタイムを含む常用)のデータを参照し、「サービスの職業」と「専門的・技術的職業」に属している有効求人倍率が1.6を超える職種の中から抽出した。

※「介護サービス業」のポジティブイメージ、ネガティブイメージ、それぞれで降順ソート

※「\*」は該当項目無し

MAX : 各項目ごと、スコアが最も高い業種

## 2) 『介護サービス業』の職業イメージ②

- 社会人では『男性』『女性』ともに「体力的にきつい仕事の多い業界だと思ふ」がトップ（男性：58.2%、女性：75.3%）。2位以下は性別によって異なる。
- 社会人『男性』は、2位「給与水準が低めの業界だと思ふ」（52.6%）、3位「精神的にきつい仕事の多い業界だと思ふ」（52.0%）。
  - ・ 社会人『男性・18～34歳』では「精神的にきつい仕事の多い業界だと思ふ」が最も高い（58.3%）。
- 社会人『女性』は、2位「精神的にきつい仕事の多い業界だと思ふ」（65.0%）、3位「他人の人生にかかわるのが大変そう」（58.3%）。
  - ・ 社会人『女性』では、若年代層ほどポジティブイメージの上位項目「社会的な意義の大きい仕事だと思ふ」「人との交流がやりがいにつながる業界だと思ふ」「資格や専門知識を活かすことができる業界だと思ふ」「仕事にやりがいがある業界だと思ふ」「専門知識や技術面でスキルアップしていける業界だと思ふ」のスコアが高い。
- 学生で『男性』は「精神的にきつい仕事の多い業界だと思ふ」（56.6%）、『女性』は「体力的にきつい仕事の多い業界だと思ふ」（70.1%）がそれぞれトップ。
  - ・ 学生で『女性』は全体値よりスコアが高い項目が多く、特に「人との交流がやりがいにつながる業界だと思ふ」（52.6%）、「仕事にやりがいがある業界だと思ふ」（43.9%）、「専門知識や技術面でスキルアップしていける業界だと思ふ」（29.9%）は全体値を10ポイント以上上回る。
  - ・ 学生で『男性』は「社風の良い会社が多い業界だと思ふ」（10.4%）が全体値より5ポイント以上高い。

## ■ 『介護サービス業』の職業イメージ 属性別比較（全体/複数回答）

（%）

	ポジティブイメージ											ネガティブイメージ																	
	社会的な意義の大きい仕事だと思ふ	今後成長していく業界だと思ふ	人との交流がやりがいにつながる業界だと思ふ	資格や専門知識を活かすことができる業界だと思ふ	仕事にやりがいがある業界だと思ふ	専門知識や技術面でスキルアップしている業界だと思ふ	雇用不安の少ない業界だと思ふ	様々な働き方が可能で長く働くことができる業界だと思ふ	誰でもできる仕事の多い業界だと思ふ	誰でもできる仕事が多い業界だと思ふ	ワークライフバランスを取って働ける業界だと思ふ	社風の良い会社が多い業界だと思ふ	界だと思ふ	グローバルに活躍できる可能性のある業界だと思ふ	体力的にきつい仕事の多い業界だと思ふ	精神的にきつい仕事の多い業界だと思ふ	他人の人生にかかわるのが大変そう	給与水準が低めの業界だと思ふ	たとえ向きの不向きはつきりする業界だと思ふ	離職率が高い業界だと思ふ	補助金頼みの会社や施設が多い業界だと思ふ	知名度や規模の小さい会社が多い業界だと思ふ	社会的地位・評判が高い業界だと思ふ	評価基準が明確でない会社や施設が多い業界だと思ふ	福利厚生があまり充実していない業界だと思ふ	給与体系が明確でない会社や施設が多い業界だと思ふ	働く人が特定の層に偏っている業界だと思ふ	他の業界に転職するのが難しい業界だと思ふ	尊敬できる上司や仲間が少ない業界だと思ふ
全体	46.1	37.7	37.4	35.6	27.7	19.6	18.2	11.9	10.2	5.2	4.7	3.2	65.7	58.9	52.5	51.3	49.1	48.6	44.8	35.0	31.7	30.8	29.4	28.0	22.3	15.6	15.0	14.4	
職業×年代別	社会人・計	46.2	39.5	34.7	34.6	25.9	17.8	17.4	11.4	9.6	4.5	3.0	2.1	66.8	58.5	52.2	53.9	48.1	50.0	47.1	35.1	32.2	31.7	30.8	28.4	21.6	14.6	15.1	15.4
	男性	41.6	38.2	29.5	27.3	19.5	12.0	15.8	8.7	10.9	4.3	3.0	2.3	58.2	52.0	46.1	52.6	41.1	45.4	45.8	35.3	31.3	30.1	31.7	24.9	22.2	14.7	16.3	13.6
	男性・18～34歳	34.2	36.5	30.2	26.6	18.1	12.0	19.4	9.7	14.7	4.8	8.2	2.7	53.0	58.3	43.9	47.0	43.8	45.8	35.1	28.9	33.6	30.5	28.4	23.4	30.7	16.8	21.4	17.5
	男性・35～54歳	43.7	38.0	30.2	28.0	19.4	13.7	14.0	7.9	6.4	3.1	1.4	2.1	60.7	51.4	48.2	54.8	44.1	46.5	47.3	34.9	28.1	29.6	31.5	26.4	19.5	13.2	15.4	11.5
	男性・55～64歳	45.1	40.1	27.8	26.6	21.1	9.1	15.5	8.9	14.9	5.9	1.1	2.3	58.6	47.1	44.5	54.1	33.4	42.9	53.2	42.0	34.5	30.5	35.2	23.5	19.0	15.4	12.9	13.5
	女性	50.6	40.8	39.8	41.9	32.1	23.6	19.0	14.1	8.3	4.8	3.0	1.8	75.3	65.0	58.3	55.2	55.0	54.7	48.5	34.8	33.0	33.4	29.9	31.9	21.0	14.4	14.0	17.2
	女性・18～34歳	52.3	38.5	44.9	46.9	37.9	28.4	15.5	14.5	8.5	2.3	3.3	0.9	68.1	62.3	60.5	48.1	55.9	41.0	38.3	30.8	33.0	22.7	23.2	23.8	23.6	22.1	15.9	16.3
	女性・35～54歳	51.4	45.8	39.5	42.6	30.2	23.4	22.6	15.3	6.8	5.9	3.6	1.7	78.2	70.1	57.9	53.3	57.0	59.3	48.3	31.9	32.2	32.7	30.1	31.6	20.2	13.3	12.6	20.1
女性・55～64歳	47.8	33.6	35.6	36.0	30.5	19.7	15.5	11.3	11.0	5.0	1.7	2.9	76.2	57.7	57.2	65.2	50.6	58.3	58.1	43.9	34.6	44.3	35.7	39.6	20.1	9.7	14.7	12.6	
学生・計	45.8	31.8	46.2	38.6	33.5	25.0	20.8	13.5	12.1	7.1	9.9	6.8	62.4	60.3	53.1	43.2	52.1	43.8	37.3	35.0	30.3	27.7	24.8	26.7	24.4	18.7	14.8	11.1	
男性	38.2	30.4	40.4	33.5	24.2	20.7	17.8	12.5	10.5	6.9	10.4	6.9	55.7	56.6	49.0	42.6	48.6	40.3	34.9	32.3	27.3	27.0	26.0	27.7	21.4	18.4	15.5	10.2	
女性	54.3	33.3	52.6	44.2	43.9	29.9	24.1	14.7	13.9	7.3	9.4	6.7	70.1	64.4	57.7	43.9	56.0	47.8	39.9	38.0	33.6	28.4	23.4	25.7	27.8	19.0	14.0	12.2	

※ポジティブイメージ、ネガティブイメージ、それぞれ「全体」で降順ソート

+10：全体値より10ポイント以上高い数値

+5：全体値より5ポイント以上高い数値

-5：全体値より5ポイント以上低い数値

## 3) 『介護サービス業』について認知していること①

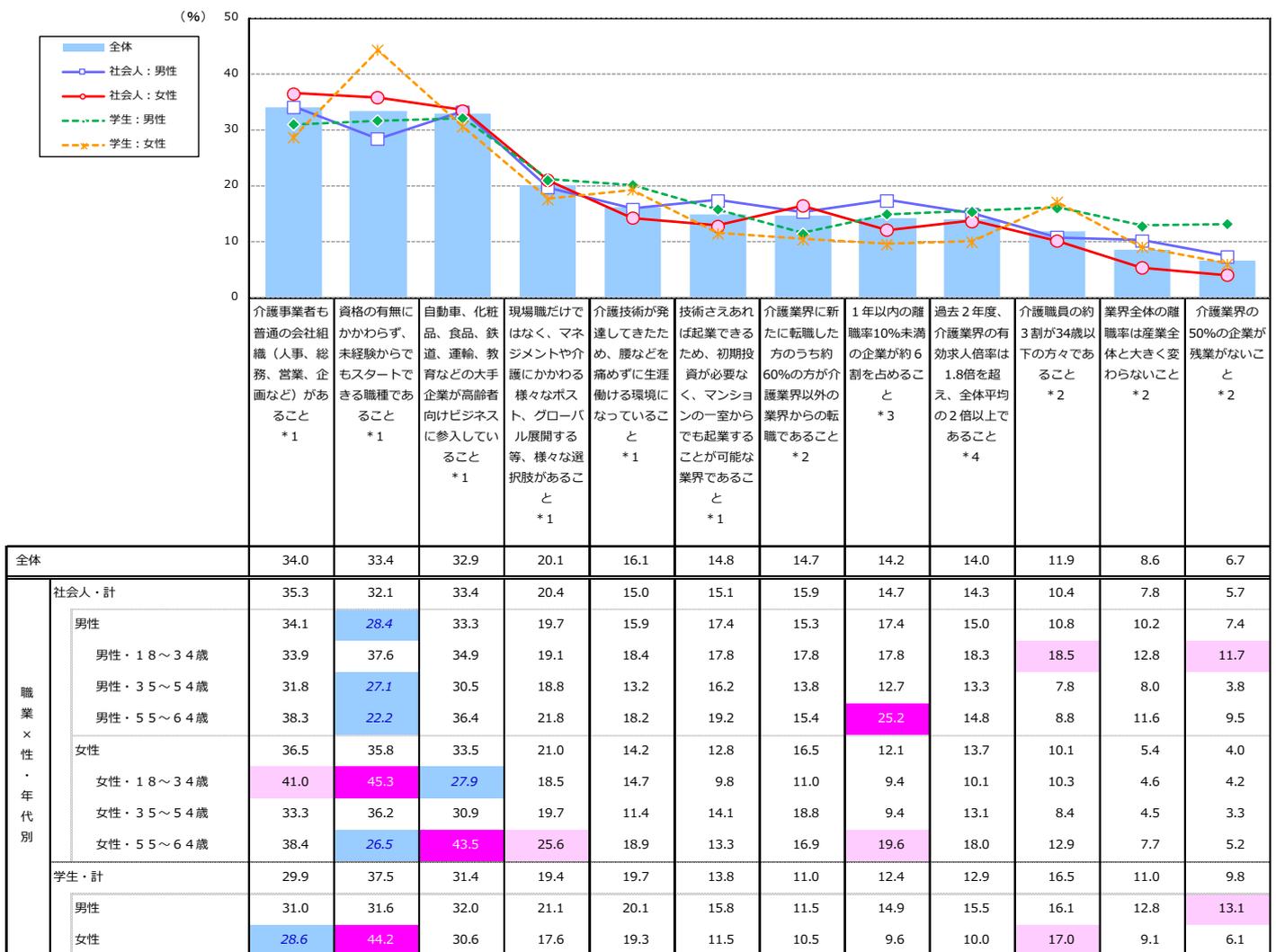
『介護サービス業』について認知していることは、「介護事業者も普通の会社組織（人事、総務、営業、企画など）があること」が最も高く認知率34.0%。以下「資格の有無にかかわらず、未経験からでもスタートできる職種であること」（33.4%）、「自動車、化粧品、食品、鉄道、運輸、教育などの大手企業が高齢者向けビジネスに参入していること」（32.9%）までが認知率3割以上。

認知されていることで最も低いのは、「介護業界の50%の企業が残業がないこと」で認知率6.7%。

- 社会人では『男性』『女性』ともに全体と同じ「介護事業者も普通の会社組織（人事、総務、営業、企画など）があること」（男性：34.1%、女性：36.5%）がトップ。
- 社会人の若年代では「資格の有無にかかわらず、未経験からでもスタートできる職種であること」（男性・18～34歳：37.6%、女性・18～34歳：45.3%）が最も高い。
- 学生で『男性』は「自動車、化粧品、食品、鉄道、運輸、教育などの大手企業が高齢者向けビジネスに参入していること」（32.0%）、『女性』は「資格の有無にかかわらず、未経験からでもスタートできる職種であること」（44.2%）が最も高い。

## ■ 『介護サービス業』について認知していること（全体/各単一回答）

（「知っていた」の割合）



※「全体」の降順ソート

+10 : 全体値より10ポイント以上高い数値  
 +5 : 全体値より5ポイント以上高い数値  
 -5 : 全体値より5ポイント以上低い数値

※質問項目は、自社で実施する転職セミナーで転職者が介護サービス業について知らない情報を参考に作成。

\*1 : 「HELPMAN JAPAN」の取材を通して

\*2 : 公益財団法人 介護労働安定センター 「平成24年度 介護労働実態調査」より

\*3 : 「Business Labor Trend 2012.11」（独立行政法人 労働政策研究・研修機構）より

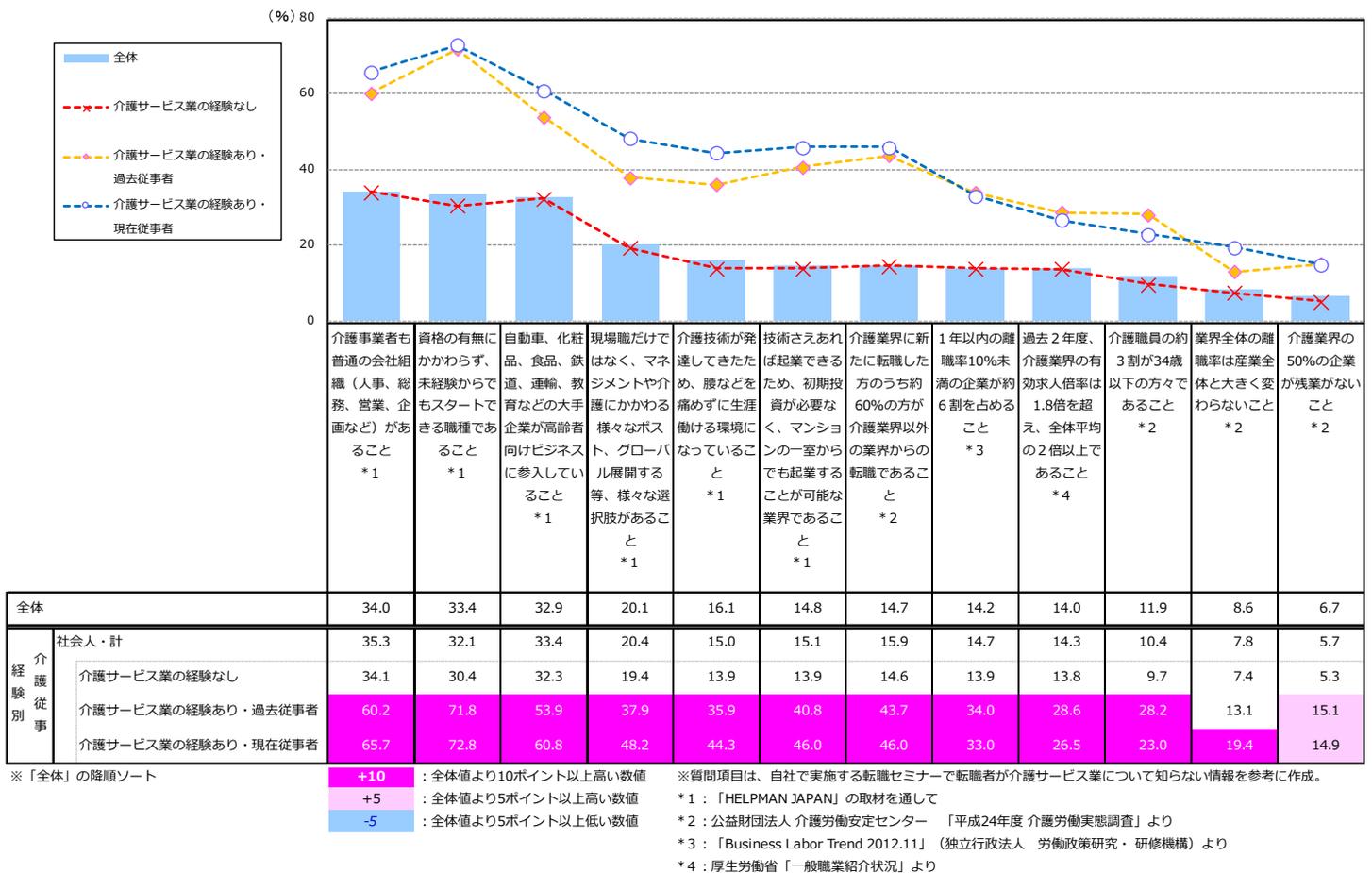
\*4 : 厚生労働省「一般職業紹介状況」より

## 3) 『介護サービス業』について認知していること②

- 『介護サービス業の経験あり・過去従事者』『介護サービス業の経験あり・現在従事者』では、「資格の有無にかかわらず、未経験からでもスタートできる職種であること」（過去従事者：71.8%、現在従事者：72.8%）がトップ。
- 以下「介護サービス事業者も普通の会社組織（人事、総務、営業、企画など）があること」（過去従事者：60.2%、現在従事者：65.7%）、「自動車、化粧品、食品、鉄道、運輸、教育などの大手企業が高齢者向けビジネスに参入していること」（過去従事者：53.9%、現在従事者：60.8%）と続く。
- 介護サービス業の経験がある層は介護サービス業の経験がない層に比べ全体的にスコアが高いが、全体の認知率で4位以下の項目については介護サービス業の経験があっても認知率が5割に達していない。
- 『介護サービス業の経験あり・現在従事者』に認知されていないという意味で最も認知率が低いのは、「介護業界の50%の企業が残業がないこと」14.9%。

## ■ 『介護サービス業』について認知していること（全体/各単一回答）

（「知っていた」の割合）

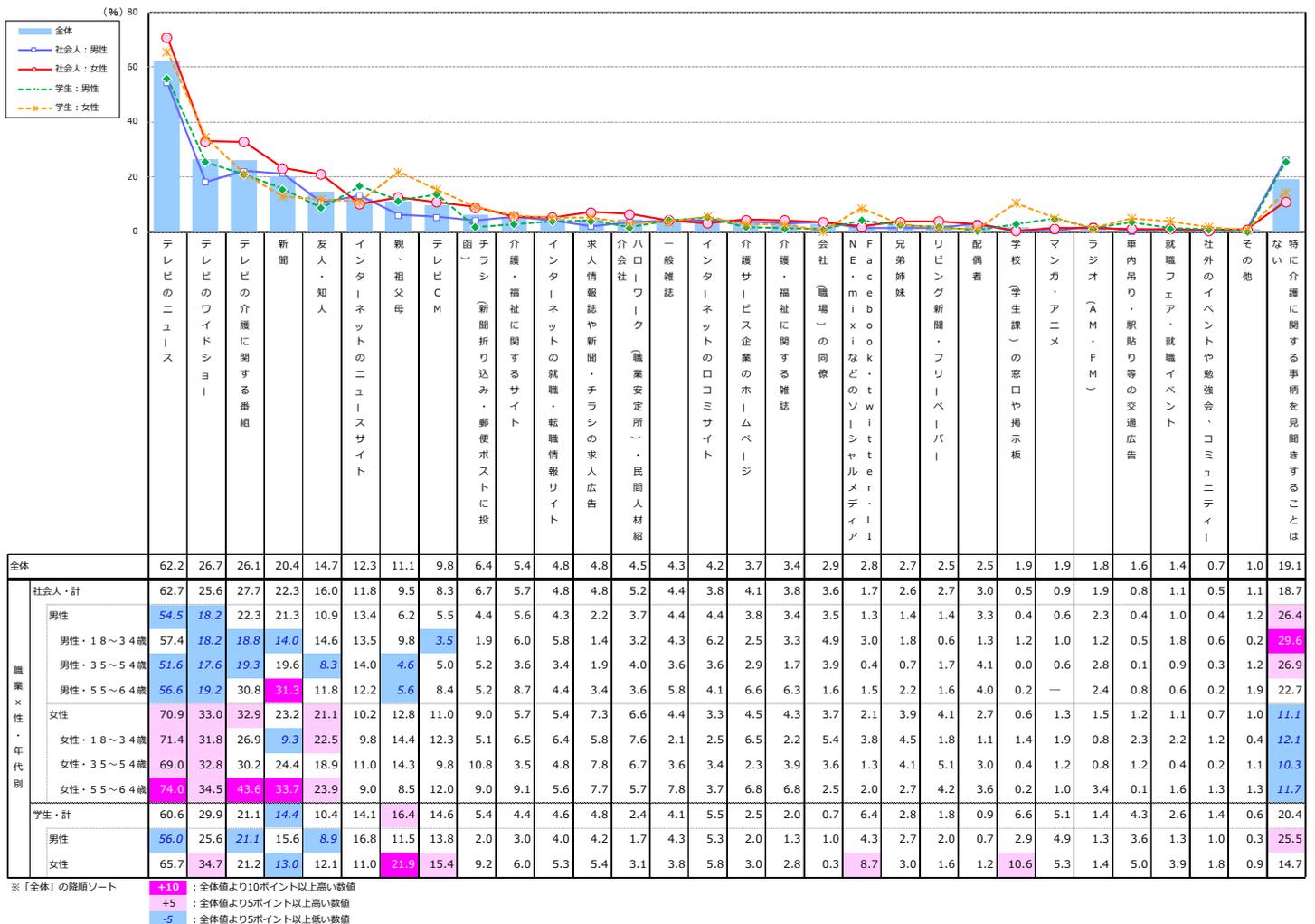


## 4) 『介護サービス業』との接点

『介護サービス業』についての情報入手経路は、「テレビのニュース」が最も高く62.2%。以下「テレビのワイドショー」（26.7%）、「テレビの介護に関する番組」（26.1%）と続く。

- いずれの属性でも「テレビのニュース」がトップ（5割以上）。
- 社会人『男性』では「テレビの介護に関する番組」（22.3%）、『女性』では「テレビのワイドショー」（33.0%）がそれぞれ第2位。
  - ・社会人『女性』は『男性』に比べ全体的にスコアが高く、特に上位3項目「テレビのニュース」「テレビのワイドショー」「テレビの介護に関する番組」は差が大きい。
  - ・また、社会人の高い年代層では「新聞」のスコアが高く、全体値を10ポイント以上上回る（男性・55～64歳：31.3%、女性・55～64歳：33.7%）。
- 学生では『男性』『女性』ともに「テレビのワイドショー」（男性：25.6%、女性：34.7%）が2番目に高い。
  - ・学生『女性』では「親、祖父母」のスコアが他の層に比べ高く、全体値を10ポイント以上上回る。

## ■ 『介護サービス業』についての情報入手経路（全体/複数回答）



5) 『介護サービス業』の入職理由と退職理由①

『介護サービス業』の入職理由は、

- 1位：「仕事にやりがいがあると思ったから」(24.3%)
- 2位：「資格や専門知識を活かすことができると思ったから」(24.0%)
- 3位：「専門知識や技術面でスキルアップしていけると思ったから」(14.9%)

●『男性』では、

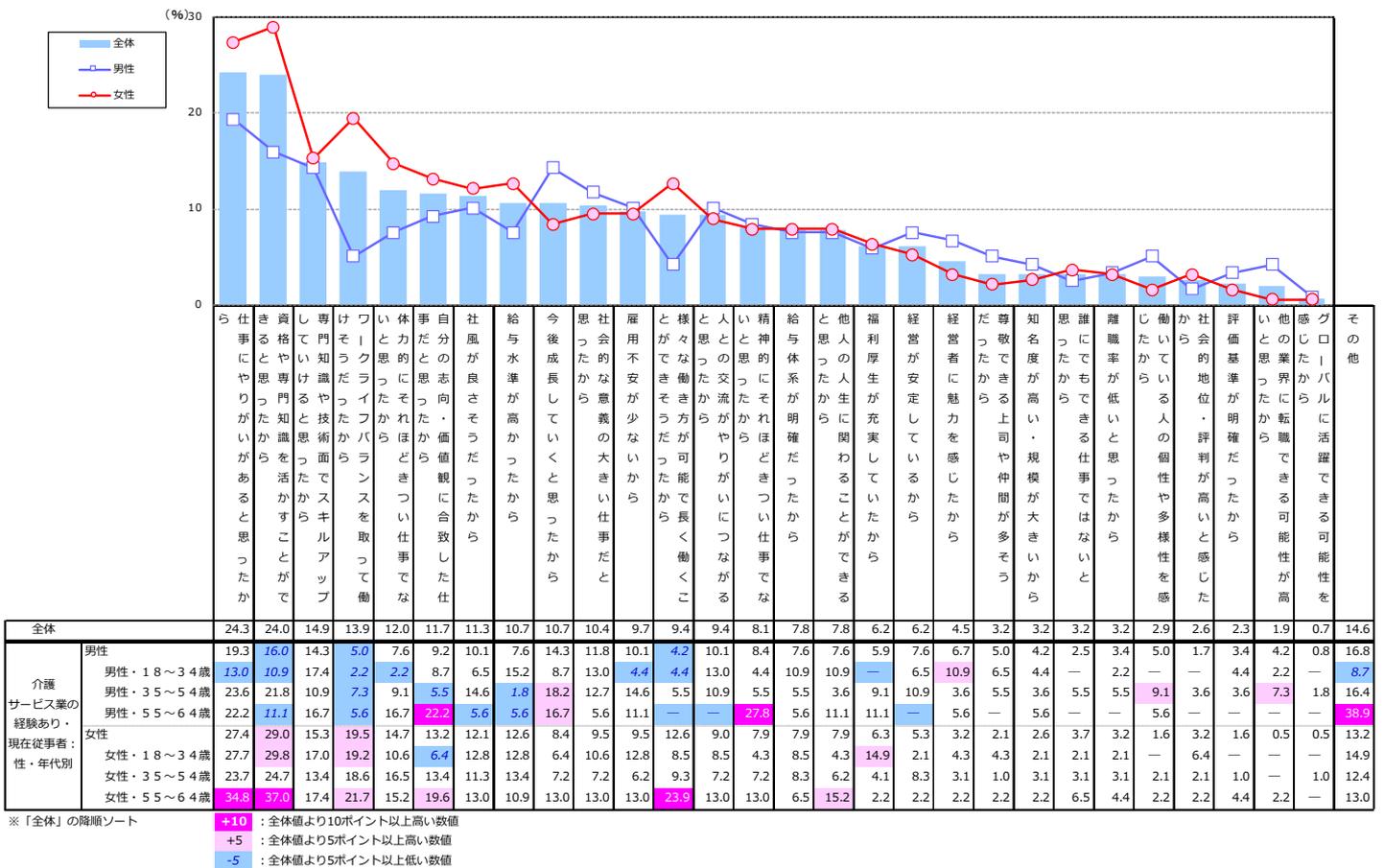
- 1位「仕事にやりがいがあると思ったから」(19.3%)
- 2位「資格や専門知識を活かすことができると思ったから」(16.0%)
- 3位「専門知識や技術面でスキルアップしていけると思ったから」  
「今後成長していくと思ったから」(14.3%)

●『女性』では、

- 1位「資格や専門知識を活かすことができると思ったから」(29.0%)
- 2位「仕事にやりがいがあると思ったから」(27.4%)
- 3位「ワークライフバランスを取って働けそうだったから」(19.5%)

- ・全体上位項目は『男性』より『女性』のスコアの方が高い項目が多い。
- ・特に「ワークライフバランスを取って働けそうだったから」(男性：5.0%、女性19.5%)、「資格や専門知識を活かすことができると思ったから」(男性：16.0%、女性29.0%)は、10ポイント以上の差がある。
- ・『男性』では「今後成長していくと思ったから」が『女性』より5ポイント以上高い(男性：14.3%、女性8.4%)。

■『介護サービス業』の入職理由 属性別比較(介護サービス業の経験あり・現在従事者/複数回答)



5) 『介護サービス業』の入職理由と退職理由②

『介護サービス業』の退職理由は、

- 1位：「精神的にきつい仕事だったから」 (26.7%)
- 2位：「体力的にきつい仕事だったから」 (22.3%)
- 3位：「給与水準が低かったから」 (15.5%)

●『男性』では、

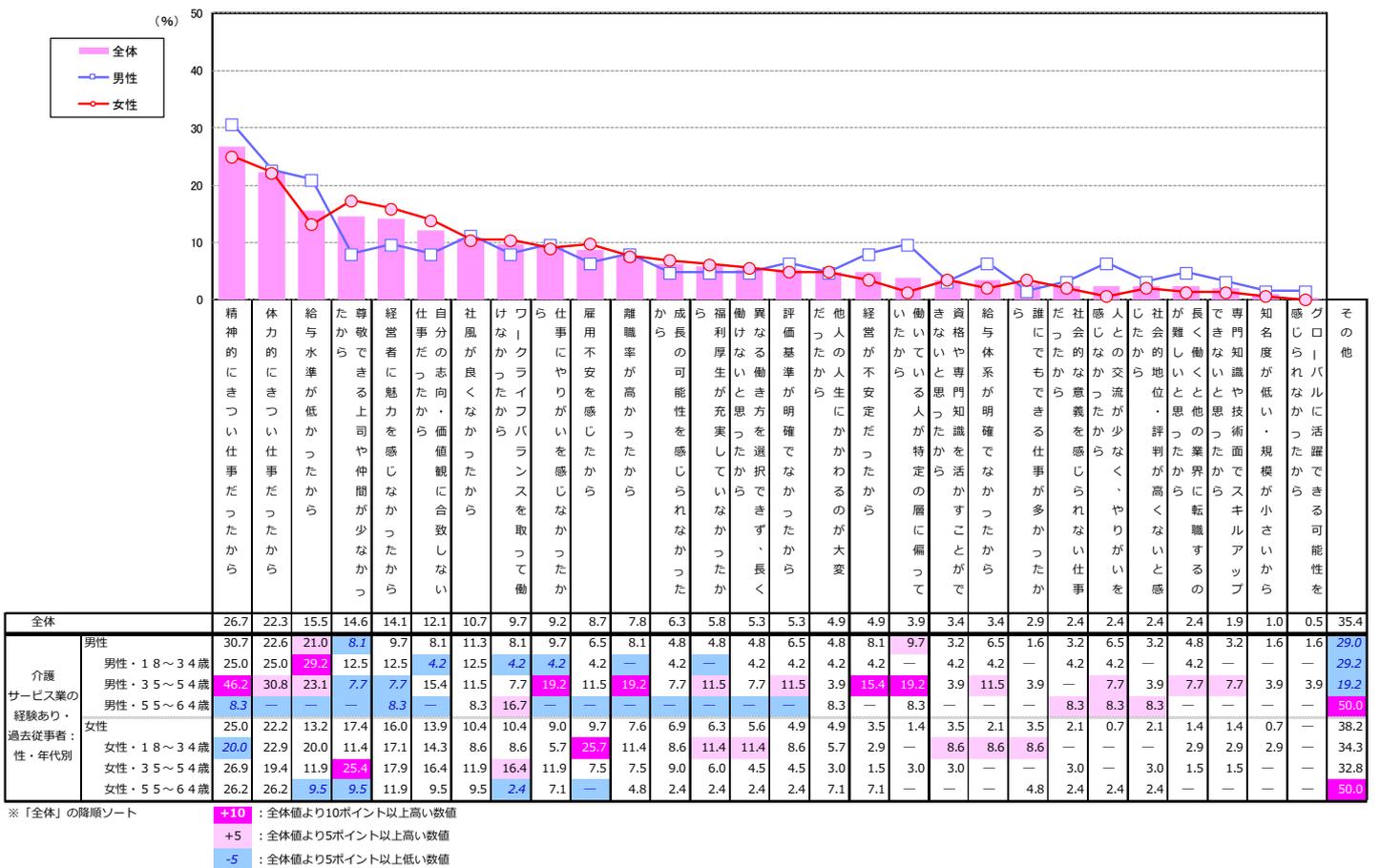
- 1位「精神的にきつい仕事だったから」 (30.7%)
- 2位「体力的にきつい仕事だったから」 (22.6%)
- 3位「給与水準が低かったから」 (21.0%)

●『女性』では、

- 1位「精神的にきつい仕事だったから」 (25.0%)
- 2位「体力的にきつい仕事だったから」 (22.2%)
- 3位「尊敬できる上司や仲間が少なかったから」 (17.4%)

- ・全体上位項目のうち、『男性』では「精神的にきつい仕事だったから」(男性：30.7%、女性25.0%)、「給与水準が低かったから」(男性：21.0%、女性13.2%)が『女性』より5ポイント以上高い。
- ・『女性』では「尊敬できる上司や仲間が少なかったから」(男性：8.1%、女性17.4%)、「経営者に魅力を感じなかったから」(男性：9.7%、女性16.0%)、「自分の志向・価値観に合致しない仕事だったから」(男性：8.1%、女性13.9%)が『男性』より5ポイント以上高い。

■『介護サービス業』の退職理由 属性別比較 (介護サービス業の経験あり・過去従事者 (離職者) /複数回答)

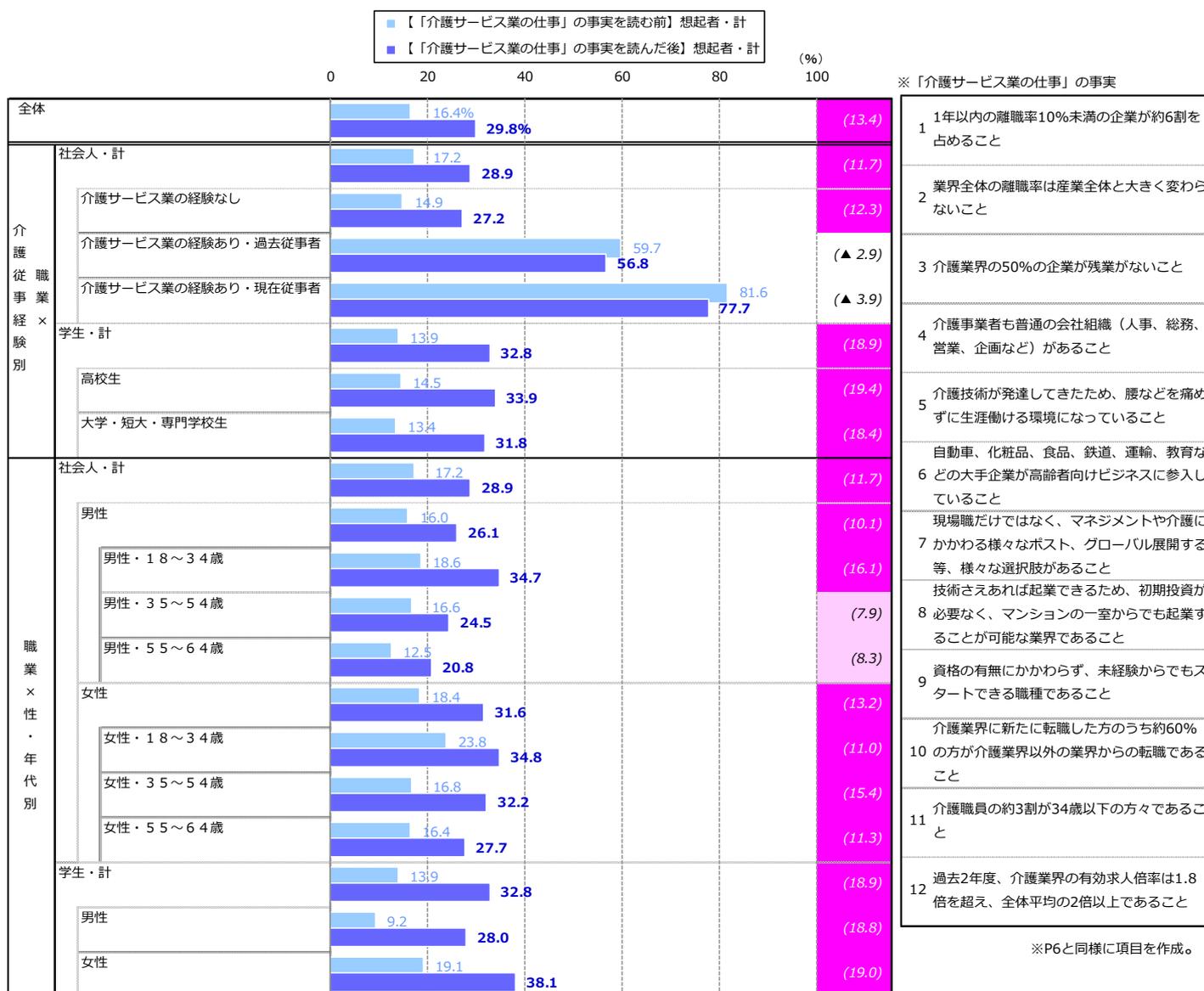


## 6) 「介護サービス業の仕事」の事実を読んだ後の『介護サービス業』への就・転職意向の変化

『介護サービス業』への就・転職想起率「想起者・計」の割合は、「介護サービス業の仕事」の事実を読む前から読んだ後に13.4ポイント上昇している（16.4% → 29.8%）。

- 社会人は11.7ポイント上昇（17.2% → 28.9%）。
- 学生は18.9ポイント上昇（13.9% → 32.8%）。
- 性・年代別にみると、すべての属性で「介護サービス業の仕事」の事実を読んだ後に就・転職想起率が10ポイント前後上昇している。
  - ・ 社会人『男性』では、10.1ポイント上昇（16.0% → 26.1%）
  - ・ 社会人『女性』では、13.2ポイント上昇（18.4% → 31.6%）
  - ・ 特に『男性・18～34歳』では上昇幅が大きく、16.1ポイント上昇している（18.6% → 34.7%）

## ■ 「介護サービス業の仕事」の事実を読んだ後の『介護サービス業』への就・転職意向の変化（全体/単一回答）



※（括弧）内数値は【「介護サービス業の仕事」の事実を読んだ後】-【「介護サービス業の仕事」の事実を読む前】のスコア

※「▲」はマイナス表記

- +10 : 全体値より10ポイント以上高い数値
- +5 : 全体値より5ポイント以上高い数値
- 5 : 全体値より5ポイント以上低い数値

※P6と同様に項目を作成。